

S2S meeting 20220518

参加者

永江、後神、原田、江端、時安、藤岡、根岸、宇根、小堀、三輪、早川、坂尾、鎌田、大浦、森野、宮田、大橋、鵜養、山本、市川

報告・議論

E70レポート

- TOFクレーン
 - SDC5をクレーンでインストールするときに、TOFのところにはクレーンリーチが届いていないことを目視で確認した
 - ざっくり1mくらい届いていない
 - キャスターを用意するなど対策を考える
- Heバッグ
 - Heバッグに外圧がかかった状態では、ガス漏れが見られた
 - カプトンテープを貼って補強した
 - この内容を気球製作所にフィードバックし、コメントをもらったほうが良いのではないか
 - フィードバックの内容をふまえ、予備の製作を依頼しておくか
- チェンバーHUL
 - HULについて、田村科研費分の使用許可を田村さんに取った
 - ASD、HULはセットで使いたいので、ASDも田村科研費分を借りられるように許可を取っておくべし
- チェンバーチャンネル
 - 6月にケーブル配線を予定している
 - チェンバーの各チャンネルとワイヤー位置との対応テーブルを作っておくべし
- チェンバーシム
 - シムを15mm入れるとなると、滑ってシムが滑り落ちる危険性がある
 - デルリンの下のアルミ板とアルミフレームの間に10数ミリの板を挟むべし

E75レポート

- リチウム標的の入手が困難な状況にある
 - Li7で予定していたが、天然リチウム、Li6を使用する方針で検討している
 - PACで報告する
 - 案2（天然Li、Li6を串刺し）よりも、天然Li→6Li→天然Liの方が良さそう
 - 原研のMLFグループでもう少し大きなLi6がありそうなのでサイズについて要相談
- 新M1が加入
 - 宇根千晶
 - 東京出身
 - 学部時代は理研・HIMACで実験をしていた
 - 小堀匠
 - 千葉出身
 - 趣味はアニメ鑑賞

ビームタイムについて

- これまでの予定：11月NU→大強度ビームで真空焼きだし→SX
- NU側で問題が発覚し、11月NUが走れない
- SXを先に走らせることはできないかという打診を受けている
- ただ、ビーム強度がそんなに上がらないのではないかという懸念
 - 5.0s→4.2sの変更はなされている
 - pppは変わらないだろう
- 強度の低いビームを使ってビームタイム削られるのは得策ではない
- また、ビームタイムが小分けになると、その度にコミッショニングをする必要があるので、電気代的にもそんなに得ではない
- D1電源を入れ替える時期が11月に間に合わない可能性もある
- そうするとビームをもらってもD1電流が下げた状態で走らないといけない
- 先に低強度ビームを受けた場合、検出器の調整はできる
 - 解析コードの確認にはなる（これは重要）
- コミッショニング項目の1～3の一部はできる？
 - 1：検出器調整、2：ビームスルー、3：AFTキャリブレーション
 - ビームタイムでいうと5～6night？
 - 一部なので4night？
- それもあるので、なおさらD1の電源入れ替えも頑張ってもらおう
 - ちなみに、大きい圧着端子が調達できず困っている様子
- D1がうまくいっていない場合、Heバッグ入れず、ビームスルー、検出器の調整を行う
- ビームタイムをもらえるのは貴重なので、低強度でももらう方向で。